(ｱ) 幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に，諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解すること。

(ｲ) 幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に，地域の結び付き，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解すること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 現代世界の諸地域について，地域の結び付き，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現すること。

C　現代世界におけるこれからの日本の国土像

(1) 持続可能な国土像の探究

空間的相互依存作用や地域などに着目して，課題を探究する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識を身に付けること。

(ｱ) 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や，探究する手法などについて理解すること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 現代世界におけるこれからの日本の国土像について，地域の結び付き，構造や変容，持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し，表現すること。

3　内容の取扱い

(1) 内容の全体にわたって，次の事項に配慮するものとする。

ア　１の目標に即して基本的な事柄を基に指導内容を構成すること。

イ　地図の読図や作図，衛星画像や空中写真，景観写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができるよう系統性に留意して計画的に指導すること。その際，教科用図書「地図」を十分に活用するとともに，地図や統計などの地理情報の収集・分析には，「地理総合」における学習の成果を生かし，地理情報システムや情報通信ネットワークなどの活用を工夫すること。

ウ　地図を有効に活用して事象を説明したり，自分の解釈を加えて論述したり，討論したりするなどの活動を充実させること。

エ　学習過程では取り扱う内容の歴史的背景を踏まえることとし，政治的，経済的，生物的，地学的な事象なども必要に応じて扱うことができるが，それらは空間的な傾向性や諸地域の特色を理解するのに必要な程度とすること。

オ　調査の実施や諸資料の収集に当たっては，専門家や関係諸機関などと円滑に連携・協働するなどして，社会との関わりを意識した活動を重視すること。

カ　内容のＡ及びＢについては，各項目の内容に応じて日本を含めて扱うとともに，日本と比較し関連付けて考察するようにすること。

(2) 内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。

ア　内容のＡについては，次のとおり取り扱うものとすること。

分析，考察の過程を重視し，現代世界を系統地理的に捉える視点や考察方法が身に付くよう工夫すること。

(ｱ) (1)については，次のとおり取り扱うこと。

ここで取り上げる自然環境については，「地理総合」の内容のＣの(1)の自然環境と防災における学習を踏まえた取扱いに留意すること。

(ｲ) (2)については，次のとおり取り扱うこと。

「資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象」については，技術革新などによって新たに資源やエネルギーの利用が可能になったり，新たな産業が生まれたり成長したりすることから，社会の動向を踏まえて取り上げる事象を工夫すること。

(ｳ) (3)については，次のとおり取り扱うこと。

「交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸」に関わる諸事象については，道路や線路，港湾，空港，通信施設などの施設とともに，自動車や鉄道，船舶や航空機といった交通機関や通信手段を介した貿易や情報通信ネットワークなどの結び付きなどに関わる諸事象を取り扱うこと。

(ｴ) (4)については，次のとおり取り扱うこと。

「人口，都市・村落などに関わる諸事象」については，国や地方公共団体の取組とも深く関わることから，中学校社会科公民的分野及び高等学校公民科などとの関連を踏まえた取扱いに留意すること。

(ｵ) (5)については，次のとおり取り扱うこと。

ここで取り上げる生活文化については，「地理総合」の内容のＢの(1)の生活文化の多様性と国際理解における学習を踏まえて取り上げる事象を工夫すること。

「領土問題の現状や要因，解決に向けた取組」については，それを扱う際に日本の領土問題にも触れること。また，我が国の海洋国家としての特色と海洋の果たす役割を取り上げるとともに，竹島や北方領